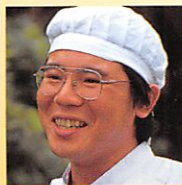
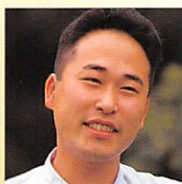
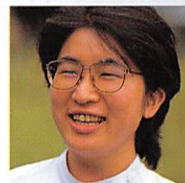
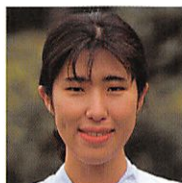
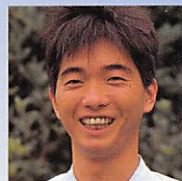


ZOOM UP

1995.No.91



キャンパスの若人
九州歯科大学



医・歯界展望

東北新幹線を小山駅で東北本線に乗り継ぎ2つ目。私鉄では時々みかけられるが、国鉄・JR線では大学名がそのまま駅名となっている例はめずらしい。自治医大駅から洒落たレストランや商店を見ながら約7～8分歩くと病院入口に着く。天井も高く明るい雰囲気、待合室を通して、創立20周年を記念して建てられたと言われる13階建の文字通り記念館ビルへ。やさしい笑顔の秘書の方に迎えられる学長室に。

余談になるが、今朝初めての訪問と電車の行き違いから約束の時間に少々遅れるむね電話を入れると、丁寧に道順をご説明下さると共に「学長にはその様に申し伝えますからご心配なく。それよりもお気を付けていらして下さいね」というご返答。さすがは学長秘書。もちろん遅れる当方が悪いのは当然のことであるが、相手の心を気使ったの冷静な応答に



自治医科大学学長

中尾喜久

●略歴

明治45年1月 茨城県下館市に生まれる
昭和12年3月 東京帝国大学医学部医学科卒業
昭和22年3月 東京帝国大学助手(医学部)
昭和22年12月 東京大学講師(医学部)
昭和26年11月 東京大学助教授(医学部)
昭和28年7月 シカゴ大学アルゴン癌研究所留学
昭和33年5月 群馬大学教授(医学部)
昭和38年5月 東京大学教授(医学部)
昭和47年4月 自治医科大学学長
昭和62年10月 東京大学名誉教授
平成2年7月 (社)日本アイトープ協会会長
平成3年5月 (財)生存科学研究所副理事長(理事長代行)
平成5年12月 日本学士院会員

感心すると共に、開業されている医院の受付の方がこうした対応をすれば、患者さんとのつながりや信頼感が一層深く厚くなることであろうと思われた。

本筋から少々離れたが、通された学長室の窓辺に向って執務中の中尾学長も、秘書嬢から想像していたように、ゆったりとした何んとも言えない暖かさが全身から感じられる方で、思わずホッとします。

「ご存知のように当大学は、昭和47年、全国47都道府県が協力し合って設立した大学です。従って運営・経営等の費用は地方自治体からの予算で成り立っております。入学定員は100名ですから、41都道府県からはそれぞれ2名、その他の6県からは3名づつとなります。入試方法は各都道府県の高校卒の希望者を地元各県で第一次試験をおこない、それぞれ7～8名の合格者が本学において第二次試験を受けることになっております。6年間の全寮生活を送り、卒後は出身地の

知事の指定する医療機関など——主にへき地や離島などですが、勤務することが義務づけられております。そうした、やや特殊な制度になっておりますので、入学者全員は修学資金全額と生活費の一部(月額50,000円)は貸与され、卒後9～10年の指定地勤務を全うすれば返還を免除される制度になっております。現在卒業生は1,871名ですが、その内約870人位は既に義務期間を過ぎ、自身の希望する道を歩んでいるようです。——しかし、以前はともかく、現状は医師・歯科医師とも過剰と言われており、こうした大学の在り方もそろそろ転換期に、と思われるのですが…。「ええ、確かに設立された当時は、全国の無医村と言われる地域の首長の方々が、とにかく当地に医師を、と毎年各大学や厚生省等に陳情に来るという厳しい状態でしたが、近年は少しずつ

緩和されつつあるようです。が、それは数字上での医師数である場合が多く、現在でも不足している県はやはり同じように足りないし、医療の利用者の立場に立ってみますと、まだまだ医療を受けにくい過疎地や離島があるのが実状です。又、世界に目を転じてみますと、途上国には医師不足で困っている国が多くあります。そうした視野にも立ち今後の対応策を考えていかなければいけないのではないのでしょうか。——現代の医療に望まれることは?「昔から言われていることですが、医療の対象は病気ではなく病む人間である、ということですね。医療が高度化されるに従って、となく治療方法も諸検査データや画像検査等のみに頼り過ぎる傾向があります。極端な場合には患者さんの顔さえも覚えていない

で治療のみに走ってしまう場合もあるようです。そこに病気に侵された一個の人間がいる、という最も大切なことが忘れられる傾向にあります。病める人間の為の医療という点を決して忘れてはならないと思います」。又これも「最新の専門的な技能、知識も極めて大切なことは当然ですが、巾広く臨床医学を学んで、総合的に病人を見ることが出来る医師の養成も、非常に大切なことです。そうした仕組み、総合的に判断が出来る医師から、ある特定の領域の専門医へと必要に応じて何時でも紹介することができる医療の仕組が望ましいと思いますね」。

お生まれは茨城県下館市。旧制水戸高校から、ご経歴が示すよう東大医学部へと進む。「理科乙類に入りドイツ語を学ぶと、周りの友人はほとんど医科に行きたいと言う。じゃあ俺もと…(笑)。たまたま雰囲気医科に入ったようなもので、特別強い志望動機はなかったように思います(笑)」。卒後は往時の若者のほとんどがそうであったように軍隊へ。「当時、同仁会という中国の各地に医療機関を営んでいる組織がありました。私もそれに加わり軍属として青島、北京等の医療機関に勤務したことがあります。東大伝染病研究所の高木逸磨教授のご指導で、北支防疫班の一員となり、青島市で主に検疫の仕事をやりました」。「戦後シカゴ大学に留学し、ジェイコブソン教授から血液学の研究をしたことからその道に進み今日に至りました」。血液学から白血病、更に癌についてのお話を詳しくご説明下さったが、誌面の都合で…。ととにかく癌に罹ったからといって決して悲観することはありません。特にお年寄りの場合は根絶しなくても癌と友達のような感覚でお互いに害を与えないよう、心の平静さを保つ指導も医師として又大切です」と言われる。歯科医師にとっても参考になるお話である。

今年83才。写真でもおわかりのように、お顔の色艶、整然としたお話しぶり。矍鑠たる姿は、とてもそのお年には見えない。——健康を保つ秘けつは?「別にこれといってありませんね(笑)。シカゴ大学から帰った直後肺結核にかかり、当時は貴重であったストレプトマイシンを東大で使ってくれまして命びろいをしました(笑)。ただ最近2年程は休日以外やめておりますが、毎朝1時間ほどの散歩は若い頃から続けておりますので、それが健康を保つことに役立っているのかな。ああ、一つだけあります。それは「菌」なんです(笑)。東大の歯科で診てもらっていたんですが、最近と違って歯槽膿漏にかかっていると当時は簡単に抜いてしまうんです(笑)。お蔭で若い頃から義歯で苦勞をしておりました(笑)」。高齢化社会を迎えているが、80才を過ぎても体力、気力共に充実されている学長。これからの社会の見本のような方である。

私と九州歯科大学

歯学部長 内山長司



■プロフィール

- 昭和35年 九州歯科大学卒業
- 昭和35年 九州歯科大学口腔細菌学 研究生
- 昭和37年 九州歯科大学口腔細菌学 助手
- 昭和42年 久留米大学医学部ウイルス学講座 留学
- 昭和43年 九州歯科大学口腔細菌学 講師
- 昭和45年 徳島大学医学部細菌学講座 留学
- 昭和49年 九州歯科大学口腔細菌学 教授
- 昭和58年 ロンドン大学基礎医学研究所 留学
ガイスホスピタル歯学部免疫学講座 留学
- 平成元年 九州歯科大学 学生部長
- 平成5年 九州歯科大学 附属図書館長
- 平成6年 九州歯科大学 学長

南の名門歯大の一つである九州歯科大学。若い読者の先生方のために、ザーとその歴史をご紹介しますと…。設立は大正3年。大正10年九州歯科医専門学校に昇格。昭和19年軍医不足から医科を併設、同時に私立校から福岡県に移管。わが国唯一の県立医学歯学専門学校となる。昭和22年駐留軍により医科を廃科。2年後歯科大学に昇格。当時は関西以西唯一、かつ最大の歯科大学として誕生、現在の偉容を整えた。

後述で学長のお話にも出て来るが、そうした長い伝統を持つ病院らしく、玄関に入っても重々しい雰囲気が漂い、特に左隅に設置された「監視室」と書かれた総合案内所(?)の文字には、一瞬どこに来たのだろうかと感じさせる。

が、「やあ、いらっしやいませ」といって現れた内山学長。戦後の昭和35年に当大学をご卒業されただけに、スポーツマンを思わせるスリムな体躯に明るい笑顔と言葉使い。病院に入ってからイメージが瞬時にふき飛ぶ、親しみやすい学長。数えて9代目にあたる。

「現在、当校を巣立って全国で活躍されている卒業生は7,789名。入学定員は以前は120名でしたが、今は削減により95名となりました。校風もご存知のようにストをやったりして、封建色を払拭、今は風通しもいいですよ(笑)。新入生も、将来のことを考えて、まず身体を、ということから運動部に入ることを奨励しておりますが、その実力となりますと少々疑問で(笑)、全歯体でもなかなか優勝が出来ません(笑)。今、OBの方にも加わってもらい、昔の絆をとり戻そうと企画中です」。ご専門は細菌学と言われるが、印象通りスポーツマンである。

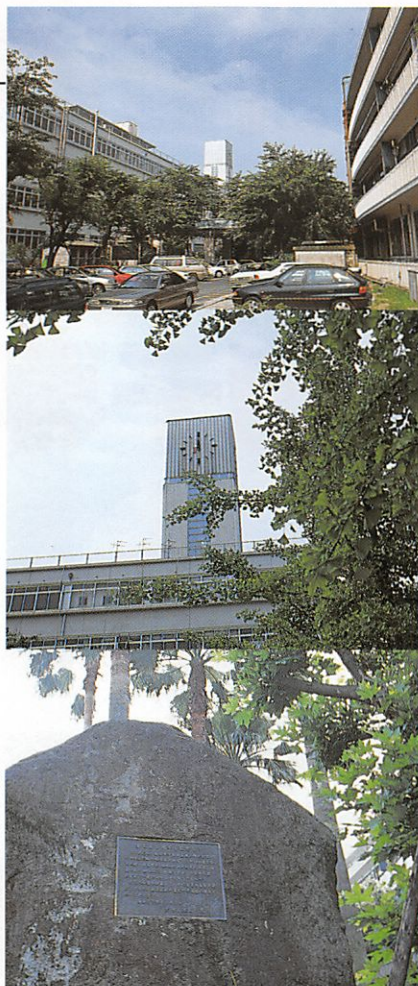
——しかし以前と違って勉強範囲も広く深くなりましたから、運動と勉強、双方を両立するのは6年間ではちょっと無理なのではないでしょうか? 「ええ、確かに勉強は私達の学んだ時代より今は3倍くらい増えています。戦後アメリカナイズされた教養科目が根つき、基礎科目は非常に伸びましたが、反面実習の時間が少なくなり、その点が少々遅れ気味で

す。そのため卒後研修を制度化するべく現在検討中です。6+2年になれば、先に話をしましたように学生にも多少余裕が生まれ、身体への鍛練にも時間をさけるのではないかと、学生にハッパをかけておりますが…。どうでしょうかねー(笑)。

お生まれは長崎県。網元の四男として育ち、お兄様は医科、学長は歯科へと進まれたようだ。ご略歴が示すように卒業後は、久留米・徳島両大学医学部の国内留学を経てイギリスへ。「口腔細菌学から細胞培養、さらに免疫学と総合的に勉強してまいりましたが口腔内に発現する疾患には2通りありまして、一つはムシ菌と歯周病のようにもともと口腔内にあった微生物が感染し侵されるものと、口腔の特殊感染症のように年令や体質、時には食物も関係し、全身から局所へと表れる疾患もあります。こうしたことから、当校には内科と外科の講座があることを利点に、外来患者にも標榜し、3次歯科医療と開業されている先生方と競合を少なくし、又、近隣の先生方の歯科医療におけるセンターとして活用して頂けるよう現在計画中です」。

—卒業以来大学生活35年。ご開業は考えられなかったのですか？「ええ、卒後すぐ親父の歯を抜いた時、出血を見て倒れてしまったんですよ(笑)。その後日炭高松炭鉱に臨時の医師として出向した時も、事故に合った血だらけの患者さんを見ていて2回程倒れたんです(笑)。それで俺は臨床医には向かないな—と思い、開業医は諦めました(笑)。でも手先の細かい作業は、昔から案外器用だったんですよ」。医師が血を見て倒れる。思わず、えっ！患者さんが倒れたのを聞き間違えたかと、お話の途中何回も念をおしたが…。「ええ、痛いだらうな—と思っている内に」というご返事。歯科医師という肩書きに？がつくような、気のやさしい、しかし正直で愉快な学長である。

—現在、当校は新校舎を計画中と聞いておりますが「ええ、附属病院は11階建(23,000㎡)の校舎を計画、来年8月着工の

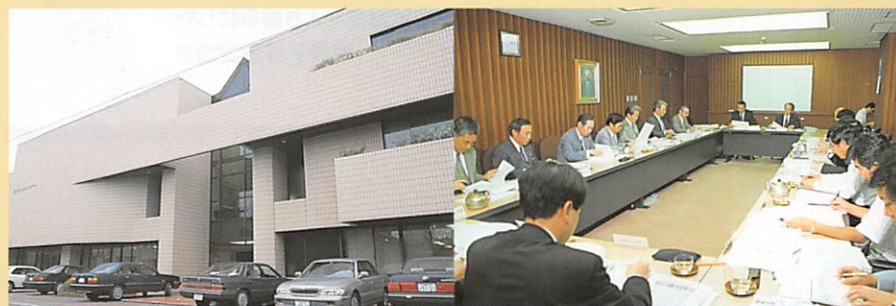


予定で現在進めております。ご存知のように本学は県の予算でまかなわれておりますから、行政側との交渉も大変で…。大変な時に学長になったものだとは内心嘆いております(笑)。

—新入学生もそろそろ落ち着いて来られる時期になりましたが、ご覧になって…「偏差値教育の中で長い間受験勉強を強いられて来ましたので、身体も精神的にも私達の時代と比べ少々弱いように感じますね。それと入学時には必ず話しますが、挨拶等の人間としての基本的な礼儀をキチットすること。学校の雰囲気に慣れたら、来たべき将来にそなえ、何が自分に合っているか、どんな特徴を持つ歯科医師になるかを、今からさがし出すよう考えて行きなさい、とっております」。又こうも「今の学生は昔と比べ、社会人に近い生活をしております。これは社会の変化によりそうなったのですが、今でなければ体験できない学生らしい生き方。少々残念な気もしますね」。確かに部屋には家電製品が並び、服装もブランドもの、中には車を持って、週末は飲み屋で仲間と騒ぐ。一見サラリーマンと何ら変わらない生活ぶり。時代の流れ、と言ってしまえばそれまでだが、長い人生を考える時、学長がおっしゃるよう、少々残念な気もする。

—先程の卒直後研修の制度化ですが、現実を考えると少々無理なこともあるような気がしますが…「確かに卒業生の受け入れ体制など、まだ詰めて話し合わなければならない点多々ありますが、将来の社会のニーズを考え、それに応える歯科医師の使命を思えば、その養成を一刻も早く実現させなければなりません。幸い厚生省と文部省の意見もまとまりましたので、近い将来、医学部と同様、制度化に踏み切る予定です。今後の歯科医療界の発展を考えれば…。時代の要請、行く末に対しての我々の責任です」とキッパリ。

ユーモアを交え明るく。しかし言うべきことは大所高所から細部までキチット話される。伝統校を背負う魅力的な学長である。62歳。



社団法人

三重県歯科医師会

JR・近鉄線、津駅より駅前中央通りをまっすぐ走り、
右に折れ4～50m行った静かな住・商地に建つ三重県歯科医師会館。
平成元年に竣工されたと言われるから、もう7年近く経つ筈だが、
建てたばかりのように真新しく、手入れもよく行き届いている。
外観・内部とも総て淡い茶系でまとめ、特に玄関ロビーの雰囲気。
吹き抜けの高い天井に正面の中央階段を昇ったところに設けられた休憩・談話コーナーは、
ともすれば固い雰囲気になりがちなこうした会館を、
開放的で近づきやすいものになっている。

内部をざっとご説明すると、
1階は後ほどお話にも出て来るが障害者(児)歯科治療室、
県民談話室、教育センター、図書資料室、事務室に。
2階は公衆衛生指導センター、応接室、役員室と大会議室。
この大会議室は広さもたっぷり雰囲気も素晴らしいが、
設備機器も各種講演会に対応出来るよう最新の装置を備えている。
3階は情報センター、実習室、研修室等に使用されている。
取材当日は木曜日。役員の皆様も都合が良いのであろうが、
途中昼休みを挟んで朝9時30分から夕方5時までの会議とは…。
休日どころではない過密スケジュールである。

役員の中から、昼休みを返上して中村会長、西城・田端両副会長、平澤専務理事の4名の方々に
県歯科医師会の現状と活動状況、更に将来への展望等を語っていただいた。
ちなみに中村会長は、昭和22年、全国の歯科医師会が社団法人として
新発足されてから数えて8代目、それだけに役員の方々の印象も活々と明るい。
難問題が山積みしている中であっても、今後若さと行動力で
新時代にふさわしい県歯会として躍進されることは間違いない、と思われた。

Officers of
MIE
Dental Association

会 長 / 中村宗矩
副 会 長 / 西城久隆
副 会 長 / 田端治夫
専務理事 / 平澤利彦
常務理事 / 野崎忠郎
常務理事 / 浜瀬徳明
常務理事 / 杉本正治
常務理事 / 峰 正博
理 事 / 中村伸也
理 事 / 柘植敏生
理 事 / 菅谷直洋
理 事 / 石垣宏己
理 事 / 近藤豊一
理 事 / 林 繁雄
理 事 / 松崎正信
理 事 / 齋藤 弘
理 事 / 吉田昌夫
理 事 / 中井孝佳
監 事 / 羽田 敬
監 事 / 中川 茂



会長
長／中村宗矩



会長：当県の実情は県民およそ184万人に対して会員785人ですから、数字の上では他県に比べ超過密というわけではありませんが、県民所得も決して高いとは言えませんし、予算その他も隣の愛知県と比べて総て1/3なんです(笑)。しかしそれを嘆いていても何も生まれて来ませんから、そうした現状をいかに打破し、会員の経営の安定と県民の健康推進・促進を図る道を見いだす努力が私達執行部の役目だと思っています。その為には県民の歯科に対する認識を深める一方、会員には各種の情報を早的確に知らせることを心がけております。又、昨年、理事会の中に医療問題を検討するプロジェクトチームを作り、県歯会として今会員に何が必要かを検討し、本年は日歯の8020運動と合わせ、歯周疾患を中心に県下8地区で地区別講習会をシンポジウム方式で開催。お陰様で会員には好評のようです。又、当館に歯科障害者(児)センターを会館設立と同時に設けましたが、そうした経験を通して将来は在宅歯科診療へと進めて行きたいと考えております。その他色々活動しておりますので、その詳細はそれぞれの担当の方々に説明させていただきます。

田端：私は役職名通り、会長を補佐するのが務めですが(笑)、担当は公衆衛生、学術、福祉、障害と色々やらされております(笑)。その中から…公衆衛生につきましては、本年からですが、8020運動推進協議会という組織を作り、三師会をはじめとして技工士・衛生士、栄養士、保健婦さんなどで健康づくりを目的とした、名付けてデンタル・ウェルネス推進事業を発足させました。この事業を通して県民全体の公衆衛生のレベルアップを図って行く予定です。余談になりますが、当県は山間僻地も多く、昭和46年から「やまびこ号」という移動歯科診療車を持ち、毎年そうした地域の診療に当たって来ましたが、やっと本年3月その役目を終わりましたが、今般の阪神大震災の

被災地への派遣を兵庫県歯会より受け、本年6月まで被災者の方々の歯科診療にお役に立つことが出来喜んでおります。福祉につきましては以前から70才以上の会員の有志で作られておりました「睦寿会」という会を、70才以上の総ての会員を対象とした組織に拡大し「終身会員集いの会」として一本化し、互助の精神で内容の充実も図ることが出来ました。とかく個々に生きて来た歯科医師と言う職

副会長
長／田端治夫



種の方々が、この会を通し老後の、精神も含めた幸せを見い出して下されば、と思っております。

西城：私も社保、医療管理、広報、企画、国保と色々担当しております(笑)。が、こうしたセクションは現在の歯科医療を考える時、決して一つ一つ分かれているものではなく、総てが絡み合っ成り立っているもの。先に会長、副会長の話にもありましたように、8020運動の推進は最も大切なことです。高齢になっても自分の歯で十分に咀嚼が出来ることは、健康促



進はもとよりQOLの向上につながります。このためには歯科医療の価値観、又歯周病をはじめとする歯科潜在疾病の掘りおこし等、県民への啓蒙、啓発運動を展開するとともに、各々の診療所にはその受け入れ態勢や意識づけが必要となって来ます。又、在宅歯科診療におきましても、支部を通して個々の会員1人1人がそれに対処出来る態勢を作ることが大切で、今ガイドラインや教育法をどのように作り上げていけば良いのか、現在各支部の方々とも話し合い、検討をしており

副会長
／西城久隆



す。その他インフォームド・コンセントの重要性、その為には衛生士の質の向上も不可欠。我々執行部のやるべき仕事は山積みしておりますが、若さを糧に(笑)、頑張っていきたいと思っております。

Q：皆さん素晴らしいお話ばかりで(笑)。でも頭の痛いことも…。総括の役目をされている専務理事の平澤先生、いかがですか？

専務理事
／平澤利彦



平澤：うーん。つらい役職ですね(笑)。細かいことはどちらの県でも日々起こっているのが現実でしょうが…、今私達が一番頭を悩ませていることは、非会員対策です。同じ歯科医療にたずさわる者として歯科医療界全体のことを考えて良識ある行動をとって欲しいと思っております。昨年4月新執行部となり平均年齢は47才。日歯から県歯、更に各支部から会員1人1人に情報の伝達を早く適切に。そして開かれた会として会員の意見を出来るだけ多く汲み上げ、それを中央にまで反映させること。若さを若さだけで終わらせることなく、言動で表わして行きたいと思っております。

会長：色々な情報が飛び交い、歯科医院経営も年々厳しくなつて来ておりますが、風説の流布にまどわされることなく、私達執行部は会員を信じ、会員の皆さんにも私達を信じてもらえる県歯会でありたいと願っております。こうした、心をひとつにした姿勢が、歯科医療界ひいては個々の診療所の発展につながって行くのではないのでしょうか。私も若く1人では何も出来ません。皆さんの協力のもと、今後も会のために全力を尽くして行きたいと思っております。

緒方歯科医院

大阪市阿部野区旭町1-2-7 あべのメディックス201

院長 緒方惟幸



大阪環状線・天王寺駅と近鉄・あべの橋駅が向かい合って立つ国道25号線道筋。大規模な都市再開発事業が進められる中とあって、駅周辺はクレーン車やミキサー車がはげしく出入りする。総て完成の暁には、大阪を代表する大繁華街として大きく変貌することであろう。

ご紹介の緒方歯科医院が建つビルもその再開発事業によって建てられた、駅から4~5分の地下2階地上13階建の巨大なビルの2階にある。ビルの角面に位置するため、通行人には一目でわかる絶好の立地条件である。

待合室は薄茶の木目の床に、壁・天井はアイボリー。窓を中心に7~8人掛の浅黄色の待合椅子が凹型に並ぶ。

受付は、前面にゆるやかな曲線を取り、台上は素通しの引き戸ガラスを貼めた半オープン形式を採用。模様入りのガラスドアを開けて診療室へ。

診療室の床は待合室と同色同材。扇形に段形のガラス模様を組み込んだパーティションが窓に沿って並び、中には濃淡グレーの<ファインGM>L型が4台設置されている。

大都市のど真ん中のビル内開業とあって、各部が広々ゆったりとまではいかないが、それを効率的な配置と都会的なセンスで補っている、明るい印象の診療室である。

院長は昭和44年、大阪歯科大学をご卒業。卒後は大阪で1年程勤務医を経験されたが、実家が愛媛県にあることから、四国・琴平にある塩田歯科医院に入局。1年半余り研修と開業についての実験を学ばれたが、事情に変化、再度大阪へと戻られ石河歯科医院に勤務、1年半余を過ごす。その間自身で夜間診療所を運営され、昭和47年此処阿倍野にて独立、正式開業へと踏み切られた。又、開業後も日進月歩に発展する歯科医療を勉強するため、東京の霞ヶ関ポストグラジュエート・センターに2年余り、更に8年前には大阪市立大学医学部法医学教室の大学院研修生となり「酵素抗体法によるヒト歯牙組織内ABO式血液型抗原分布の検討」と言う一度聞いただけでは覚えられないが、世界的にもめづらしい論文を完成、修了された。こうした歯科医療にかける情熱は自身の勉強だけにとどまらず、現在大阪府歯科医師会理事、地元阿倍野区歯科医師会の副会長として歯科医療界全体の向上と発展にも貢献・ご活躍されている努力、実力派である。



Q：好立地の素晴らしい歯科医院ですね。

院長：昭和47年の開業以来ずっとこの地でやっております、当時からこの地が都市再開発地域に指定されておりました。30年以上たつてやっと実現、ビルが完成しましたので、昨年12月に引っ越しし、今年1月6日からオープンしました。

Q：大阪で大学を卒業。四国に戻られて又大阪、更に市立大学の医学部大学院と、勉強につく勉強の25年ですが、ご感想は？

院長：いやー、無我夢中の人生でしたねー(笑)。卒後四国に戻ったのは病弱であった兄を見るためだったんですが亡くなった為その必要がなくなり…。でも塩田先生のとこで教わった、特に補綴についての勉強はその後の私にとって非常に良い経験となりました。又、歯科医療の色々な分野で大活躍されている先生に教えるを乞うことが出来、非常に恵まれたと感謝しております。大阪市立大学医学部の大学院で法医(歯)学を勉強したのは、昭和60年8月の日航機墜落事故を見て「大阪には同様の事故処理に必要な法歯学を学んだ者が少ない」と実感。その為に勉強し始めたのです。現在府歯科医師会に属する警察歯科対策推進室の室長をやっておりますが、長野県の愛犬家殺人事件を初め、箕面の女性バラバラ殺人事件等、身元確認に役に立ち、学んで良かったと思っております。その他衛生士学校や生涯研修等を担当しておりますが、今までは自分の勉強に夢中でしたので、ああ、自分も奉仕(法歯)をする年齢になったのか、というのが現在の心境ですね(笑)。でも本当は1人でコツコツ技工などをやっているのが好きなんです(笑)。

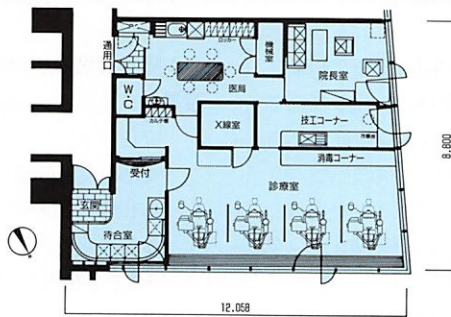
Q：阪神大震災の時は？

院長：ええ、中学・高校は神戸の御影、魚崎で住みましたので、日本赤十字大阪府支部、大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕隊に加わり、2、3月で5回ほど歯科診療のボランティアに行かせていただきました。知人も2人ほど亡くなりました…。此処がオープンしたばかりでの惨事。今年は1月からずーと忙しかったですねー。

Q：現在の患者数、医院の方針は？

院長：理事会や各種の会合で、フルタイムで働けるのは月・水・金の3日間だけです。その日は多い時は1日60人、夜も9時過ぎになることもあります。患者さんも電車やバスを乗り継いで1~2時間かけて来院される方が多いので…。その方達のことを思えば決して手を抜くことは出来ません。医療の根底には、信じたら





一途についていくという、やや宗教的な部分も持っておりますから、こちらもそれに応えて全力で治療にあたること。インフォームド・コンセント等近頃盛んに言われておりますが、これは今始まったことではなく、患者さん1人1人の身になって考えていけば、当然そうした説明や納得をえた上で診療することは当たり前なのではないでしょうか。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：設計の方とは人間的な面で息が合っていましたので、まず君が良いと思う医院を設計してみてくださいと言いました…。あれやこれやで2年半位かかりましたが、まあ満足する医院が出来上がりました(笑)。パーティションも、私自身田舎育ちですから、患者同士話し合いが出来る、和気あいあいな雰囲気が本当は好きなんです、ここは大都会のど真ん中…。もうちょっと時間がたてばこうした方が良かったか悪かったか、結論が出ると思いますが。

Q：オサダの〈ファインGM〉をご使用頂いておりますが、選ばれたのは？

院長：大学時代を除くと勤めたところが皆オサダでしたので他社製品を使った経験がないんです。メンテナンスも良く、20

何年か前、開業時に買ったレーズは今も現役でそのまま使っていますよ(笑)。ファインGMは、私はデンチャーは散髪屋の椅子が最も適していると思っていましたから、その条件を満たしているユニットはこれだ、と見た瞬間すぐ決まりました。

Q：これからの若い先生方に何か一言。

院長：当院は近くに市大付属病院があることから、他に疾病を持つ患者さんがよく来院されます。そうした時に病院の臨床検査値や本人のその時の状態を内科医なみに読み取らなければなりません。今

後は増々高齢化が進むことから、歯の治療を全身から考えることが特に要求されます。わたしは歯科の往診診療を20年以上も前から行っておりますが、そうした口腔外科的知識をまず身につけ、その後補綴、保存等を学んでも決して遅くないと思っております。歯科医の将来云々が近年言われておりますが、自分自身の信念を持って学び、治療にあたれば、まだまだ色々な分野で活躍、開拓する余地は充分にありますので、希望を持って進んで欲しいですね。



診療室拜見 | MORIOKA DENTAL CLINIC



森岡歯科医院

沖縄県石垣市新栄町70-3

院長 森岡成行 副院長 森岡和子





仏桑華(ぶっそうげ)、ブーゲンビリア、県花でもあるデイゴの花々とコーラルブルーに輝くサンゴ礁の海…。石垣島は日本有数のリゾート地と言われるだけあって、他では見られない南国のイメージを訪れる人々に強く焼きつける。ご紹介の森岡歯科医院の院長もそうしたお一人であったご様子。

医院は空港より車でおよそ10分。石垣港にほど近い市役所通りに建っている。屋上からは星の砂で知られる竹富島が眼前に横たわり、その向うには西表島がかすかに望まれる。診療後こうした景色を眺めながらビールを一杯ときたら、この世の極楽。よくぞ歯科医に生まれけり、と言ったら不謹慎だと叱られるだろうか？

医院外観も又南国の医院らしく一風変わっている。写真でおわかりでしょうが、総て素通しガラス。表通りからは建物を通して裏面にある小学校まで見えるという超開放的な作り。常夏の島のことゆえ、裸はさほど気にならないが、建物までとは…！

慣例に従い医院の細部をご説明すると。建物正面には玄関に続くアーチ状の門柱が立てられ、右側は2階の住居に昇る曲線の階段、左側が駐車場。車輪が植えられた芝生を踏みつぶすのを考慮に入れたのであろう、入口から車輪にあたる部分は赤レンガが敷かれている。

待合室は細い木目の床に、右側側面が曲線のガラスブロック。それに沿って1人掛の木の椅子が6脚ほど置かれている。受付は前部にゆるやかな曲線を取り入れ、上部の台は白大理石、という凝った作り。

上部を曲線にした白いドアから診療室へ。床は待合室と同色同材、表通りとはほぼ平行に低く張られている。前述のように内部の仕切りも総て素通しガラスゆえ、来院者は消毒コーナー、それに続く技工室も一目で見渡

すことができる。前面に天井まで届く大ガラスを貼め、それに沿って濃淡グレーの<ファインGM>が3台。チェアの前面は、水平位を採ったときの患者さんの心理を考えたのであろう、ステンレスのプラント台を置き、上部からツタ状の植物が下がっている。一見ユニットのショールームかと思われる作りだが、ブラインド類は一切取り付けられていないところは、更に徹底している。

医局でお話をお伺いするが、右を向けば表通りを歩く人が、左を向けば小学校で遊ぶ子供達の姿が見え、たのしいと言えばこれ程開放的な気分になれる室は初めての経験だ。

院長は大阪大学歯学部を昭和58年にご卒業。そのまま母校の医局(第1口腔外科)に残り11年半助手をされていたが、昨年8月退職。念願の此処石垣市で11月に開業された。ちなみにお父様は元九州大学歯学部予防歯科学教室の教授をされ、定年後の現在は大垣女子短大の教授をされている森岡俊夫先生。ご存知の方も多いことであろう。

副院長を務められる和子先生は昭和63年に同じく大阪大学歯学部をご卒業。卒後は母校の口腔治療学教室で2年研修。その後天王寺にある大先輩にあたる開業医のもとで矯正と小児歯科を3年間学ばれた後、夫と共に

に此処石垣へ。尚、和子先生は歯学部入学以前、同じく阪大の経済学部を卒業され、卒後は国税局(マルサの女?)に勤められたが、一転、学士入学で歯学部に入り直したという才媛である。

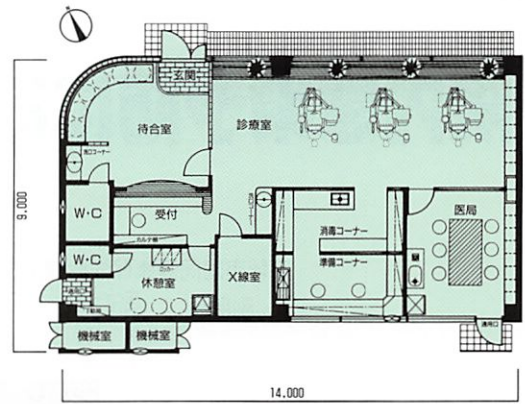
Q: ずい分思い切った診療所を建てられましたね。

院長: ええ、わざわざ石垣まで来たのですから、自分の心そのままに、開放的で明るい診療所にしたかったのです。どこを向いても総て把握できますし、スタッフ一同も常に見られているという意識がありますから、適度に緊張して仕事に専念出来る利点がありますね。

Q: 何故石垣に?

院長: 18年前、大学1年の時ですが、たまたま此処に遊びに来て、この自然や海に魅了されたと共に、何より人の温かさ、素朴で親切、都会では感じられない人情が強く印象に残っていました。将来私達に子供が出来たら、育てるのならそうした環境の中でと…。此の度の開業へとつながって行きました。

Q: それにしても11年半の大学生生活。反対はありませんでしたか?



今は以前に比べはるかにやりがいを感じております。

Q：室内設計でご留意された点は？

院長：設計は総て、電球一つからコンセントの位置、ドアの把手に至る細部まで自分でやりました。このキャビネットも引き出しは治療手順に沿って厚みを変えて作られています。最上部は台の上に少し巾を取ってガラスを乗せました。こうしますとカルテやメモなど一目でわかりますし、汚れず、しかも台上はフルに使えます。消毒コーナーも外部から見えますから、汚物入れ、流し、超音波洗浄と一連の動作で効率良く手早く処理出来るよう設計。スタッフにはなるべく労力を少なくし、その分患者さんのケアにあてるよう総てに亘って設計しました。ほぼ満足のいく様に仕上がりました。でもこの辺りは台風の通り道ですから、ガラス窓だけが心配ですね(笑)。

Q：オサダの〈ファインGM〉。選ばれたのは？

院長：アルバイト先で色々なユニットを使った経験から、離島ですし最も故障率の少ないメーカーは、ということでオサダを。ファインGMはまずデザインが素晴らしかったこと。次はオートメモリー付ですから効率が良いこと。エナックや光重合も付けましたから、不自由は全く感じません。使っていても良く考えられているな、と感心することが多いですよ。

副院長：私はずっと他社製品でしたが、このユニットを使ってみて、安頭台もチェア一部も薄いので、足やその他の動きも自由で制約がない…。知らなかったとは言え、今までよく他社のユニットを使っていたなーと(笑)。使いやすいユニットですね。

Q：お友達に何か一言。

院長：牛肉の産地で、海には海老や貝が一杯。緑色の魚もありますよ。皆さん時間がとれましたら、ぜひ気軽に遊びに来て下さい。

院長：飛行機でくれば2時間足らずですが、気分的に速いんでしょうね。両親にも猛反対をされました(笑)。私自身も口腔外科は好きだったんですが、勤めていればそうそう自由な時間を持つわけにもいかないし、自然と接していたい気持ちと計りにかけて、思い切って開業することになりました。

Q：副院長であられる和子先生のお気持ちは？

副院長：実家は神戸で、この島へは主人に連れられて初めて来ました(笑)。でもどちらからと言えばアウトドア派で、自然が好きでしたから、あまり抵抗はありませんでした。勤務医時代、アポイントをとるのに、小さな子供がノートを広げて自分で時間の調整をしたりしている姿は異様だと思っていましたから、自分の子供を育てるにあたって、もう少しゆったりと自然の中で育てたいと言う主人の意見には賛成でした。でも一人では来ませんでしたね(笑)。

Q：国税局から一転、歯科医師になられたのは？

副院長：経済学部でしたから就職先は限られていました。でも働いている中に、人生は一度かぎり、何かが喜び職業で女性が一生働ける仕事はないかと…。



Z O O M で C L O S E - U P



西連寺愛憲先生

の巻

東京都練馬区向山1-14-17
((社)日本学校歯科医会会長)

最初からお歳の話で会長には少々失礼だが、今年70才を迎えられるとはとても思えない若々しさ。「私は10月で70才になりますが今は69才(笑)。それがですね。今年東京都の終身会員になられた人達の集まりでスピーチをやらされたんです。皆様お丈夫で何よりですね」と話しましたが…。来年が恐ろしいですよ。素見したり、喜ぶ仲間が多いですから(笑)。

今回はそのお友達の1人かと思われる日歯常務理事梅田昭夫先生のリレーにより、西連寺愛憲先生にご登場頂きました。

先生は皆様もご存知のように今年4月日本学校歯科医会の会長にご就任されると共に、東京都学校歯科医会会長、地元練馬区の歯科医師会会長、文部省保健体育審議会委員、東京都学校保健審議会委員等々…。未だ紅顔(?)の頃より歯科医師会の様々な役職につかれ、貢献・活躍されて来られた方である。又、ご実弟は元日本大学歯学部長であられた西連寺永康教授。ご兄弟揃っての日本歯科医療界のリーダー。90才で亡くなったと言われる、福島でご開業をされていたお父様もさぞ本望であられたことであろう。

— 歯科医師のご長男として生まれ、よくお父様は離されましたね。「弟とどちらか大学に残れと部長や教授に言われ、弟に、お前は大学でキチッとやれと一旦は福島県歯科医師会に入会したんです。が、結婚することになり、練馬に家を買って子供が生まれ、その後開業と。とうとう親父との約束を破って今日まで来てしまいました(笑)」。ザックパランで明るい印象の会長。これでは地元の先生方が離さないであろうと想像できる。

— リレーをして頂きました梅田先生とは? 「私が以前日本や東京都の学校歯科医会の幹事や理事をやっていた時、社団法人になるための定款をその方面に詳しい梅田先生に作ってもらったり、その他公私共々相談に乗って頂いたり…。長いおつき合いです。先生は私と違って(笑)論理的で総ての物事に真面目で一生懸命と組む方。又友情や人情にも厚く、絶対に人を裏切ることのないご性格で、お世話になりつつ、心から尊敬してお

ります」。年齢は(又、お歳の話で恐縮)3才ほど離れておられるが、気どらず構えず、後輩を立てる会長。お話を聞いていても気持ちがいいし、年をとったら(失礼)先生の様になりたいな、と思わせる方である。

— 学校歯科医会の今後の抱負は「昭和30年～50年代にかけて子供のむし歯罹患率が非常に多かったんですが、全国の先生方の努力で予防推進運動が定着しました。今後はこれを更に進め、教育を通して自分の健康を守る実践活動を展開する方向に向かっています。いわば病気を見つけて治す、疾病志向から健康志向への転換ですね。今年4月から学校歯科健診の方針を、①むし歯があり歯科医にいかねばならない子 ②指導により健康を推進することが出来る子 ③健康志向が出来る子、というように3つに分け、これを定着させるように改定しました。私



達は今までむし歯むし歯で30年余りやって参りましたが、今後は全身の健康を保つ中での口腔の役目の大切さ— 顎関節や歯列の状態等も含め、それによって起こる発音や咀嚼力の低下など、口腔から派生する問題を広くとらえ、健康診断の中に組み入れて行かなければならないと思っています。又、我々歯科医師側も従来は、病気を見つけて治す方向にありましたが、今後は健康の維持、更には増進するためにはどうしたら良いのかを考えていくこと。歯科医の責任として、何が重要・大切かを考え指導や臨床をやっていく意識改革が必要です。そうした流れ、志向が8020運動の推進にもつながって行くのではないかと思います。「今、広島県では5025運動を展開されておりますが、こうした運動は

8020運動の前段階として非常に素晴らしい活動だと思います。厳しい状態という話ばかりを聞いても何ものりません。発想の転換をし、夢やロマンを持って、21世紀の健康は我々が守るんだ、と言う心意気で前向きに進んで行きたいですね」。又、「人は一生の間に必ず歯医者さんに行きます。その時歯科医師から口腔の内容、ひいては健康推進についての啓発や指導を受ければ、歯科医に対する信頼度も増えますし、社会的評価も高くなります。社会的評価が高まれば、国民のコンセンサスも得られ、個々の医院— 医業も安定します。医業がキチッと成り立たなければ、社会に対しての奉仕やボランティア活動も出来ません」。「私は練馬の歯科医師会の会長に就任した時、役員の方々に言いました。役員の仕事にあまり時間を割くな。それよりも自院の患者さんに全力投球しなさい。



歯医者としての本業をまず一生懸命やること、と話しました。又会員の皆さんには、会に入会していることで安心して仕事に打ち込めることが大切で、本業をおろそかにしてまで会に協力することはありませんと。様々なボランティア活動も、最終的には会員やそれを通して患者さんに貢献出来るものに限り、出来ないものはやる必要がないと…。変わった会長だと言われました(笑)」。包みかくさず、ズバリと。現代の若者の本音を代表するようなお話しの内容である。

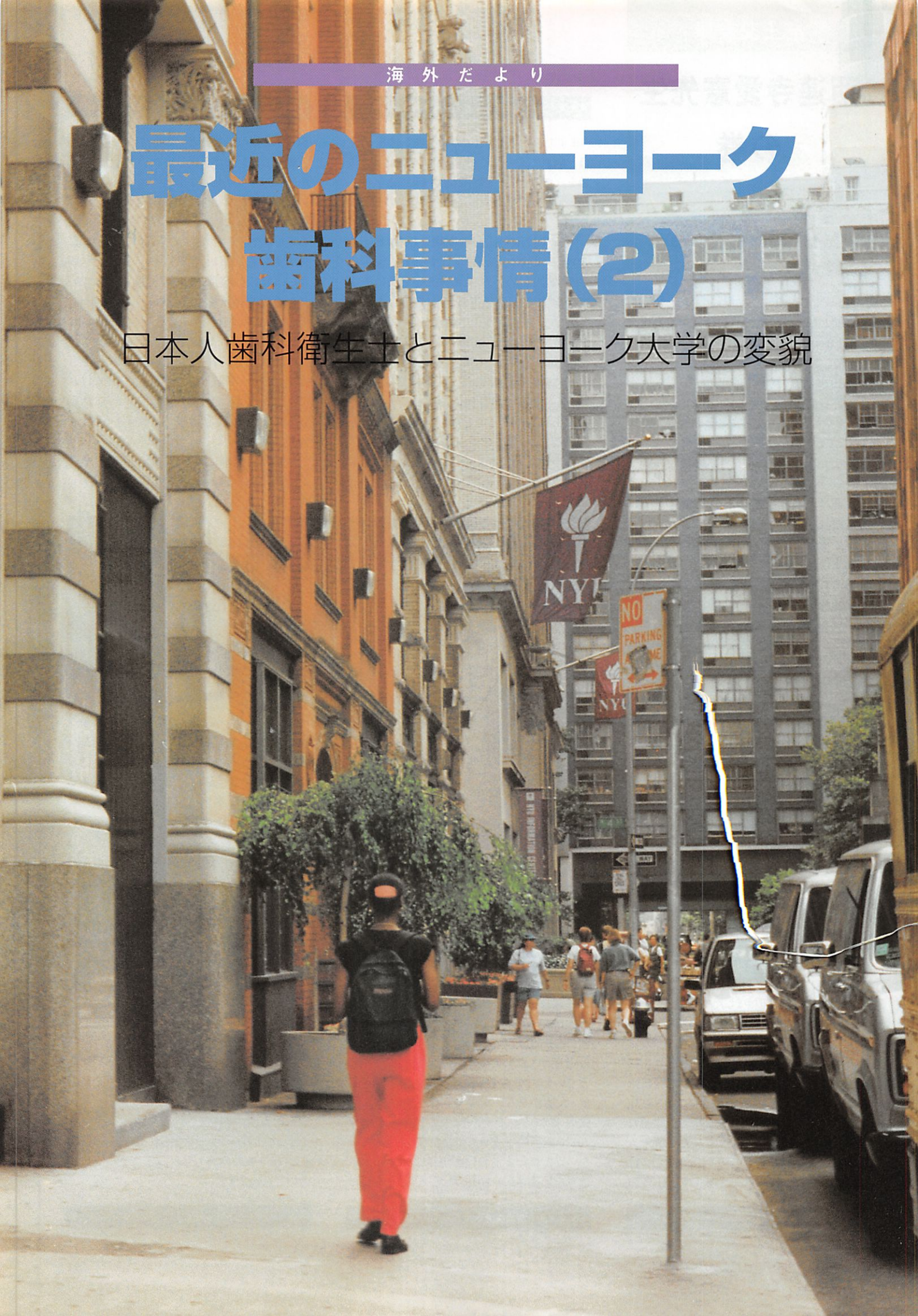
— ご自身の本業の方も少々気になります(笑)。「はい。朝8時30分から診療を開始し、終わって12時にこの会館に来て執務。3時頃、又診療所に戻って6時頃まで診療をしております。いまは役職から少々経済を犠牲にしておりますが…。総て完全とはいきませんね」と笑われる。歯科医師会になくてはならない、貴重な会長である。

※此の度、練馬区の庁舎の中に1フロアをとって口腔センターを作られたと聞く。機会をとらえ、その内容もぜひ誌上でお知らせしたいと思います。

海外だより

最近のニューヨーク 歯科事情(2)

日本人歯科衛生士とニューヨーク大学の変貌



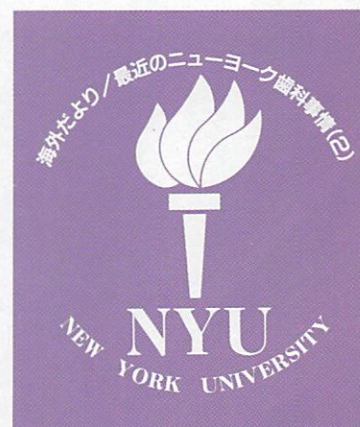
MANHATTAN



先号は日本人歯科衛生士を通して、彼女の働く歯科医院を紹介したが、今回は近年急速に変貌を遂げつつある、彼女が学ぶニューヨーク大学の背景とそれを推進するアメリカン・スピリットをからめながらお知らせすることとする。

彼女(坂上恵子さん=Sと略)は週の半分——厳密に云うと3日間——マンハッタンの開業医のところまで衛生士として働くかたわら、ニューヨーク大学大学院で勉強を続け、更に又同大学歯学部(衛生)で後輩の指導講師もしている忙しい人だ。

毎日朝6時半起床でフル回転、休むのは日曜日だけというスケジュールだが、本人のSさんには充実した生活で、結構楽しんでいる様子だ。



ニューヨーク大学歯学部

ニューヨーク大学は庶民的なプライベート大学として知られる。歯学部は、他の大学のそれと比べても大きい方で、1学年学生数は150人位。

コスメティック歯科専門医であるJ・マーク(Mと略)医は、NY大学歯学部を78年に卒業したが、当時の学費は年に約1万5,000ドルだったそうだ。しかし現在の学費は年に約2万5,000ドル、4年間学ぶと10万ドル(約1千万円)になる計算だ。

M医は学費ローンで通学し、卒業後9年間、毎月175ドルずつそのローンの返済に当たるといふ。

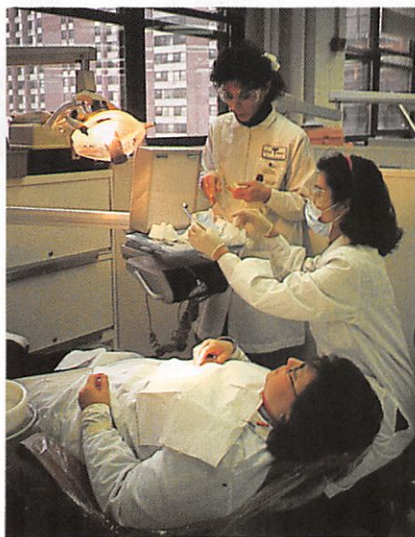
当時歯学部の学生の20%位が女子学生だったが、現在はもっと増えている傾向にあり、又、外国からの留学生もグンと増えているそうだ。理由のひとつは、日本の様に経済事情が良くなって、学費を出せるようになった留学生が増えたということ、イラン人などはその良い例という。

歯学部衛生科

二年のカリキュラムの衛生科の学生数は、年に依って異なるが、今現在は昼間のフルタ

イム学生数は40人位、パートタイムでは20人位、夜間は15人位となっているようだ。

歯学部と異なり衛生となると、女性が断然多くなり、先生も女性が多いそうだ。しかしSさんに云わせると、99.8%の衛生士が女性



という日本と違って、アメリカでは男性もこの分野に進出している。現在男子学生が5人いるという。

日本では衛生士は、まだまだ歯科医のアシスタントというイメージが強い。理由のひとつ

として考えられるのは、歯の衛生に関する日米の意識の差であろう、とSさんは云う。

日本人は歯の衛生に関して無頓着気味で、虫歯が出来てから、又は歯痛に悩まされてから、歯科医院の門をくぐるケースが殆どと云ってよからう。

しかし手入れの行きとどいた歯を自己管理の重要なひとつと認識するアメリカ人は、年に2回はチェック・アップに歯科医院の門をくぐるのが普通である。私のアメリカの友人の中には、歯石をとるクリーニングを3ヵ月ごとにする人もいる。その際殆どオートマチックに、口中の健康をチェックするから、歯ぐきのケアもすることとなる。虫歯が発生しかかっているかどうかにも注意深くチェックし、必要とあればレントゲンをとって調べることもなるから、衛生士のスケジュールは結構忙しい。

そんな中でもSさんは、後輩の指導講師役をなかなかエンジョイしている模様だ。

「教えるということは好きみたい」

と、人ごとの様に云う彼女に、私は良い意味でのアメリカの個性を感じた。経済的自立ということで衛生士の資格を取った。しかしこの人は、自己探求中らしい。どうせ一度の人生なら、自分にとって最もやりがいのあるこ



とをしたい、ということだ。

教えることが「好きらしい」の理由は、「教えたなら向こうから何か戻ってくる」。つまり、時間をかけたことや、自分が貢献したことに対して、反応があるということだろう。

アメリカの学生は、日本人のように、年齢を気にしない。特にパートタイムや夜間の学生は、働きながら通うため通常の学生の平均年齢よりずっと年上の人達もいる。

年齢や性別に関係なく、「日本人の先生の方が、学生から見ると話し易いみたい」と彼女は云う。矢張り日本人の方が国民性で、細かいところに良く気が付くし、アメリカ人のようにビジネスライクでないからだろう。あまり先生がテキパキしていると相談したくても学生はつい億劫になりがちだ。

日本女性のSさんが、男子学生や年上の学生も混じるクラスで教えている様子を想像すると、大変小気味がいい。

あまり具体的に先のことを考えている様には見かけなかったが、SさんはWHOに深い感心を持っている様子だ。理由は発展途上



国に出向いて、知識や体験を積みたいからという。

衛生科の学費は、材料費込みで、年2万ドル(約200万円)。課程はフルタイムで2年、パートタイムなら3年、夜間なら4年かかる。パートタイムと夜間通学の際は、学費も変わってくるようだ。

ニューヨーク大学

「NYU」で知られるニューヨーク大学は、ニューヨーク地域に住む移民とその子供達の為に、1831年に創校した私立大学である。

そういう背景からか、何か大変「アメリカ的」性格を感じさせる大学だ。精力的で、創造的で、近年よく話題に登るようになったが、その理由のひとつは、1984年に15年計画で始めた「10億ドルキャンペーン」だ。この春、15年どころか10年でそれを達成してしまって、デカデカとニュースになった。

面白いのは、他の大学なら10億ドルのお金をかき集めたら、大学の基本財産にそれを加えて、その利子だけを使おうとするところだが、NYUは大学再建にその殆どを使ってしまったことだ。

時代の流れに添って、又はそれを前取りして、新しい学部を次々と設置し、又は現在の学部を拡大し、その為22の校舎を建てたり、買ったり、改築したりし、特定分野で権威の教授達の顔を揃えたりで、10億ドルを投資したということだ。

ハーバード、プリンストン、スタンフォードその他の有名校から有能な教授を引っこ抜き、NYUの権威的教授がMITに動くことすれば、先方よりはるかに魅力的な研究環境を提供して



引き止めたり、という具合らしい。

公立大学では、教授の地位でサラリーの額が規定されているが、私立にはそういう規定が無いことを利用して、公立の教授以上のサラリーを助教授にも提供しているという。

有能な教授が引っこ抜かれそうになると、彼の為に研究センターをつくり、更に彼に10人の教授を雇う特権を提供するという大胆な手段も使ったという。その最たる例は新規につくられた神経科学センターで、ここは人間の脳の研究で世界的に知られる研究センターとなった。

そういうわけで、NYUはもともと法律、医学、ビジネスの学部で知られていたが、ここ10年の中にフィルムやアート分野では米東部一、数学科学、フランス文化と文明、中近東研究、アフリカ研究などの分野でも全米大学の中で頭角を現すに至っている。

それで当然集まってくる学生も、更に学者や教授達も全米のみならず世界中からとってくる。10年前には、ニューヨーク市以外の地域からの学生数は全学生の18%に過ぎな

かったのが、95年現在73%という驚くべき変わりようである。

ちなみに寮費込みの年の学費は、2万6,800ドル(約268万円)となっている。

今や、10億ドルキャンペーンを、予定より5年早く達成してしまったNYUは、今度は年1億ドル寄付を募るキャンペーンを企画し実施している次第だから、ここ10年の変貌をこれからも続けて行くことだろう。

10年前のNYUは、学生達にとって入学志望校の4位から5位だったが、今では第1位となっている次第だ。

寄付キャンペーン大成功の背後にあるのは卒業生の力と云い切っても大げさではあるまい。何せ、米社会の権力の座に在る大物が

卒業生なのだ。たとえば42年にNYUを卒業したL・テッシは、今やCBS社の会長でしかもNYUのボード・オブ・トラステイの会長、といった具合だ。大手証券会社サロモン・ブラザーズの創業者も卒業生なら、大手銀行ケミカル・バンクの会長もしたり、J・P・モーガンの前会長もそう、と全米に名を轟かせる有名人がワンサという。

しかもその多くはアイビー・リーグ教育を受けるには貧し過ぎ、働きながらNYUの夜間部で勉強し、卒業したという経歴の持ち主と来ている。彼等は裸一貫、無一文から身を起こし現在に至った自己の生涯を誇りとする人達である。キャンペーンに参加し、自己の努力でここ迄やった、ということ世に伝える機会を歓迎もする。更に母校NYUが全米指折りの最高学府となれば、彼等が取得した学位の格も上がるというものだ。

更に又、現在の彼等の立場——彼等がリーダーとして運営しているその多くの企業の本社はニューヨーク市に在り、ニューヨークの「企業市民」でもある。キャンペーンで寄付を募ってNYUを助け新しい時代に似合った学府に育てる努力をするのは、自分達ニューヨークの企業市民が、自分達の都市ニューヨークを助け育てることに他ならないというわけである。又、海外からの寄付を容易とする為か、イタリア研究やドイツ文化研究センターのクラスも設置したと報道されている。しかし今のところは、海外からの寄付はまだ思わしくない様子だ。唯一の例外は日本だそうで、日本はなかなか後援的と伝えられている。

10億ドル寄付キャンペーンというと、数字が大き過ぎて抽象的になってしまうが、噛みくだいて云うと、毎週200万ドル(約2億円)の寄付を500週間連続して募る、ということになる。

NYのロングアイランドにあるハイスクール



をドロップアウトした女優ポーレット・ゴダードは、この世を去るに当り遺言で、NYUに2,500万ドル(約25億円)残したが、そのきっかけは、彼女の歯科医M・サクラドだったと伝えられている。サクラド医はNYUの役員委員会のメンバーである。

NYUは彼女の寄付を称え、1,400万ドルかけて寮を建て「ゴダード・ホール・ドミトリー」と名付けている。

10億ドルを活用して、11のドミトリーを建てたり改築したりしている。ニューヨークの様な大都会では、学生の寮設備がととのっているか、いないかは、大変大事なポイントである。

というわけで、日本人ではあるものの少なからずアメリカ的気質——独立独歩精神に富み、自由と冒険を愛し、自分にとって意味あることに突進努力する——を内に秘めるSさんは、庶民的なNYUと縁があったに違いない。

移民の為に造られた大学NYUは、今年で164才となる。貧しい移民達とその子孫達の多くは、新世界アメリカでひと旗あげるべく、働きながらここでがむしゃらに勉強して、次々と巣立って行った。

ハングリー精神で鍛えられた彼等が、実力社会の新天地で頭角を現すのは時の問題だった。母校NYUが、時代の流れに添って成長し得るか、それとも現状維持で動脈硬化的に化石化して過去の存在として二流三流に落ち下り、いずれ忘れ去られることとなるかの別れ道に直面した時、たくましい人生を切り



拓くことに熱中していた元移民の卒業生達は、即刻立ち上がり、即刻その底力を発揮したと云える。

成功者の世襲二代目、三代目と彼等が違う点は、社会の習慣となった「常識」を無視し得る「非常識」とも言える活力が、まだ彼等の体内に波打っていることでもあろう。

二代目、三代目の常識では、「10億ドルは

財産として手をつけず、その利子で——」となるどころ、非常識で創造的に生きてこなければならなかった移民卒業生達は、「とっておかず投資に使ってしまえ」と結論し、そう実行したわけだ。

故に、「日本製アメリカ人」と自負するこの私は、NYUのたどって来た道に、大変アメリカ的なものを感じる次第である。

Sさんの趣味は、読書、音楽——、とここ迄は日本的優等生の答えだが、次は「食べること」、といささか個性的となり、そして「旅行」、そして「スポーツ」となる。

スポーツでは、「スキー、テニス、ゴルフ…」と、なかなか発展的だ。

一週間の中6日はフルに無我夢中で働き、休みは日曜日だけのSさん、何時スキーやテニスやゴルフをする時間があるの、と聞きたいところだが、きっと「創造的に」時間のやりくりをしているのだろう。

筆者紹介

岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長

オサダの商品<お元気ですか>

赤木玉水堂 歯科診療所

長崎県壱岐郡郷ノ浦町本村触129

院長 赤木 昭
副院長 赤木昭彦

玄界灘に対馬と相対して並ぶ壱岐島は、古くから朝鮮と日本を結ぶ交通の要路上に位置したため重要視され、大化改新の時代に既に1国となった。とあるから、今に引き継がれている日本の生活や伝統文化の大半は、その昔この島経由で入って来たことに間違いない。邪馬台国の女王・卑弥呼もあるいは——ともかく幾多の歴史とロマンを秘める、珊瑚礁に囲まれた白砂青松の美しい島である。

ご紹介の赤木玉水堂歯科診療所は空港から車でおおよそ15分、高速船ジェットフォイルの着郷ノ浦港からは徒歩で15分の、丘の中腹、静かな住宅街に建っている。母屋に続く建物はどっしりと落ちて、地域に根付いた歯科医院といった印象である。

医院に入ると、正面に広めの階段、その裏側には25人は充分と思われる待合室。階段を上ると更に15人程座れる待合室と、都会の診療室では考えられない程の贅沢さ。院長のお話しによると「この辺りではお弁当を持って、子供さんと共に一日がかりで来院されるから、そうした患者さんの為に」というご返事。確かに最新の技工設備と東京・愛歯技工専門学校を卒業された奥様の弟にあたる主任技工士4名を有する当院で治療すれば、待っている間に仮歯、1~2週間後に義歯完成という、通院日数も少なく短期間で完了になることは必定。その為の待合室も必要となってくるであろう。

診療室内は、中央に通路、左右に3台ずつ計6台のユニットが並ぶ。機種は最新のファインGMから15年前にご購入頂いたスマイリーNまで。どのユニットもフル活動の様子

である。

通された院長室には法務大臣、日本歯科医師会、警察、学校保健会など各種の表彰状や感謝状、中には国税局長からのものもある。院長の歩まれた道程、歯科医療にかけた熱意、貢献度がわかるようだ。

院長は昭和32年、九州歯科大学をご卒業。卒後は久留米市で盲目となり困っていた歯



科医院に教授の推薦により、院長として1年勤務。翌年故郷である此処壱岐に戻り開業。「当時は、今では考えられませんが、電力不足のため停電がありましてね。足踏みエンジンで治療していたんですよ。福岡に行くのにも6~7時間、時には波が高くて欠航。それが今ではジェットフォイルで1時間、飛行機なら

20分前後ですから…。良い時代になりました」と云われる。——赤木玉水堂、変わった医院名ですね。「ええ、当家はもともと平戸藩に仕えた医者で、私の祖父は長崎医学校の第1回生。5代前までわかっており、その先祖の名が玉水三成という名前だったんです。そんな訳で開業時にその名を付けました」。ちなみにお2人のお兄様は医師として後を継ぎ、ご次兄は現在郡の医師会長をされているという。名門の家系である。——この島の歯科医院状況は？「現在人口およそ36,000人に対し、歯科医院9軒(歯科医師12人)です。終戦時には5万人台、私が開業した頃は4万人台でしたから、年々人口は減って来ています。でも大きな産業はありませんが、農・漁業をはじめ、畜産や近頃は観光業等、住と食にはあまりお金がかかりませんから島民はわりに裕福ですよ」。もう私は年ですから、これからは地域の皆さんの健康や生活環境づくりに奉仕して行きたいと思っております、と言われる。変わって当院を担うのが、今年40才、働き盛りのご長男であられる昭彦氏。

昭和58年、福岡歯科大学をご卒業され、卒後はインプラントの研究で知られる福岡・

お店の人に、故障が少なく
長持ちするユニットは
オサダが一番ですよ、と薦められ…。
スマイリーN、
もう15年使っております。





河原歯科医院で研修され、11年前に当地に戻り院長と共に診療生活へ。誠実で明るい印象の2代目である。——断絶はなかったんですか？「ええ、父は、医師は生涯勉強と言っているように、新しいものをどんどん採り入れる性格ですから、親子間の断絶はありませんでしたね。今でも私はアポイント、父は来院者は何時でも診るという方針でやっておりまし、お互いの診療は口出ししない、という暗



心の微妙な動きまで感じとって診療をする。本当の医術とは、と言われる院長の言葉が分かるような気がする。「その為には自身の健康管理ですね。私は開業以来30数年になりますが、病気で医院を閉めたことは1日もありません」と言われる。確かに、紺屋の白袴では患者さんも納得しないであろう。特に医療従事者は…。——ところで長年オサダのユニットをご愛用頂いておりますが、何故？「九歯大の頃オサダの技工用モーターを使っていた評判が良かったんですが、開業時には他社製品だったんです。でも故障が多くて、しかも離島ですからすぐ修理に来てもらえず…。当時東京歯科産業にこの島の出身者がおりまして、故障が少なく丈夫で長持ちする機械はオサダが一番ですよ、と言われ…。以来ですね、オサダさんとおつき合いは…。機械が良い上に気軽にサービス(アフター)にも来てもらえて…。オサダさんには感謝しております(笑)」。

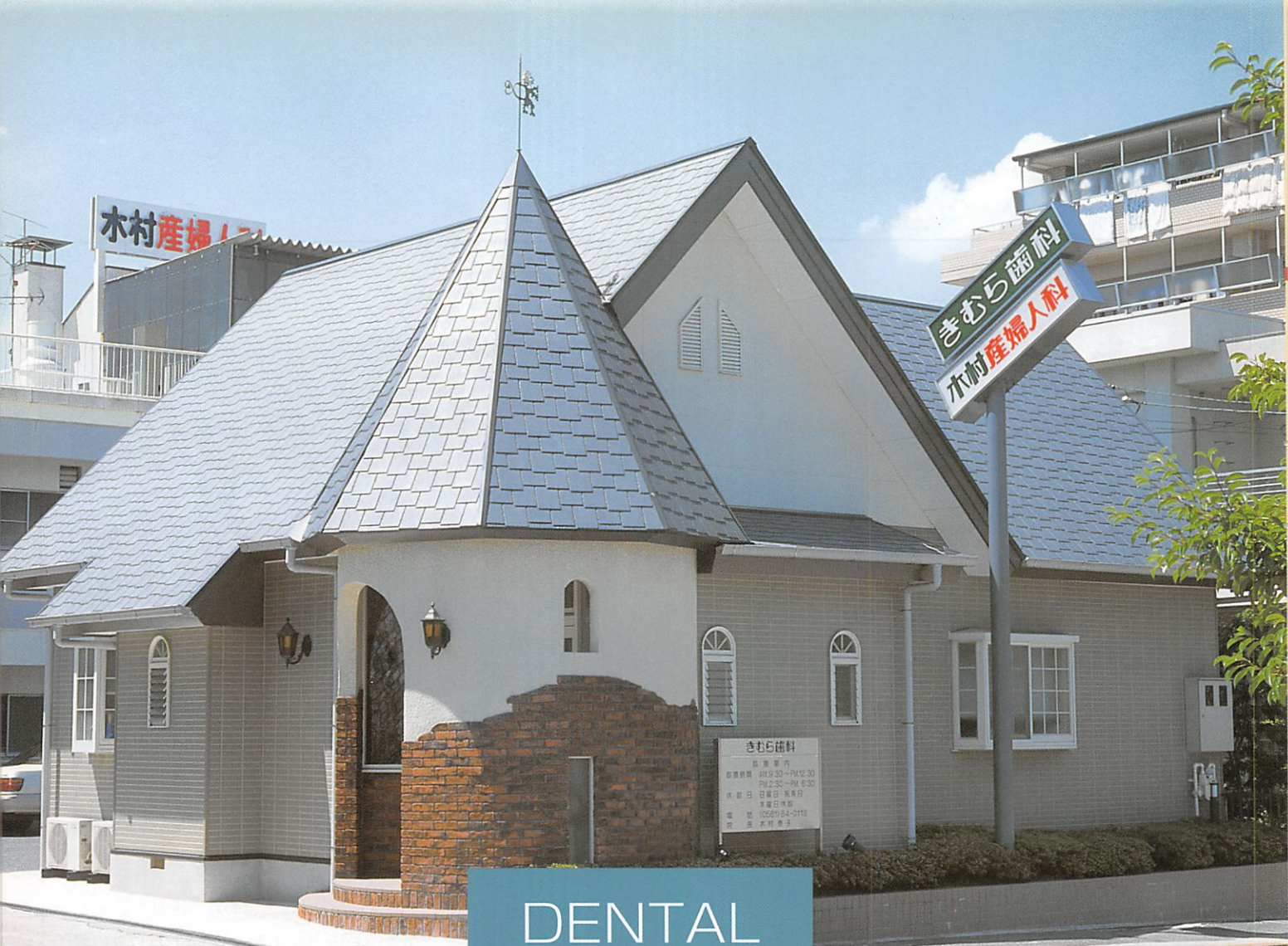


黙の了解みたいなのがありますから(笑)。——将来は？「学校の歯科校医は現在もやっておりますが、その他警察の嘱託歯科医など、父のあとを継いで地域の方々に貢献していけたら良いな、と思っています」——患者数は？「ドクター2人で1日60名前後ですが、ラボが身近にありますから融通がきき、その点は助かっております。患者さんの納得される

治療。今後もそれを守って行きたいですね」。

——院長、ふり返っての人生は？「戦前、戦中と幼稚園時代からずっと両親と離れての生活でしたが、今は歯科医師になって良かった、というのが実感です。現在は息子が中心となり、私はお年寄りの患者さんを主に診療しておりますが、この島も例にもれず、高齢者が人口の1/4位になっておりまして…。そうした方々は、口込みでどこの歯医者が上手か、親切かを聞き尋ねて来ます。私は時代のニーズに沿って生涯勉強を続ける意志さえもってれば、その集大成は60~70才。本当の医術はその頃から出て来ると思っているんですよ。近年盛んに言われているインフォームド・コンセント。患者さんの生活背景から、

帰り際、若奥様が「壱岐は魚もおいしいし自然もきれい。素晴らしいところですよ、って書いておいて下さいね」と念をおされた。郷土を愛し、誇りを持って生きる赤木玉水堂歯科診療所の人々の心が、この一言に凝縮されているように感じられた。



DENTAL SPACE

きむら歯科

愛知県瀬戸市菱野台2-28

院長 木村泰子

**怖い、痛いイメージを消し、
子供さんにも親しめる
雰囲気をと心掛けました。**

鎌倉時代良質な陶土が産出したことから、以後陶業の町として全国的に知られるようになった瀬戸市。市街地に向かうにつれて、丘陵地が切り崩され茶褐色の山肌が目に入る。が、ご紹介の「きむら歯科」が建つ市の南東部周辺は公園を思わす緑豊かな静かな郊外住宅地。そんな環境に合わせるように、道路脇に立つ2枚の看板もグリーンの地に白抜き文字で「きむら歯科」。もう1枚は白地にグリーンと赤で「木村産婦人科」。これは地続きでお父様が経営される医院名のようなのである。

玄関アプローチは、円形の建物にトンガリ屋根。童話の世界に出て来るようなたのしい

外観で、一見してここは女医さんが運営される医院だな、とわかる。

待合室は木目の床に5~6人は座れるかなと思われる薄紫の椅子。天井、壁はベージュ色。

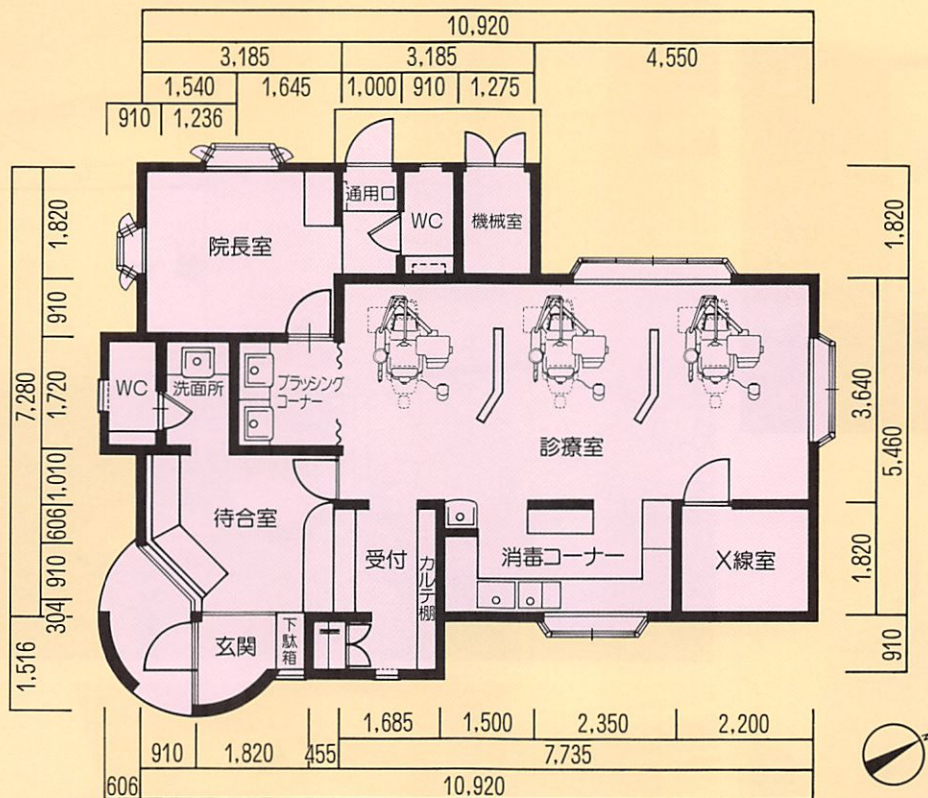
木目にガラスの入ったドアを開けて診療室へ。左側にはお年寄りや子供でも楽に使えるやや低めの洗口・刷掃指導コーナー。観葉植物が置かれた出窓に沿ってグレーと紫のファインGM・L型が、上部はガラス、下部は木目のパーティションの中に3台並んでいる。天井は高く、片流れ。中央には天窓が設けられ、そこから外光が室一杯に広がる。ユニッ

トの背面は、中央に2mほどの仕切り壁を作り、内側はコの字型に各種準備コーナー、消毒・滅菌機器などが並ぶ。

ベージュと木目の茶色を基本色に、観葉植物の花と緑、ユニットの紫などで暖かさをイメージさせた落ち着いた診療室である。

院長は平成元年、愛知学院大学歯学部をご卒業。その後大学院を経て同大助手(口腔外科専攻)に。傍ら病院に出向、将来に備え経営と研修を重ねられたようだ。ちなみにお姉様も愛知学院大学歯学部を卒業され、現在刈谷市に近い東浦町でご開業とのことである。

テキパキと明るい印象の院長とやさしそうなスタッフ一同。開業1年目がやっと過ぎたばかりであるが、患者数も毎日増しているようである。



院長 木村泰子先生

- 設計：(有)アンドー設計室 ■開業：平成6年6月
- スペース：約77㎡(約23坪) ■ユニット：ファイン<GM>L型3台
- 診療時間：9:30～18:30 ■休日：日曜、祝祭日、木曜
- スタッフ構成：ドクター1名、衛生士1名、受付・助手3名 ■患者数：1日約40名

Q：2人姉妹でお2人共歯科医師。お父様の跡を継ぐ気持ちはなかったんですか？

院長：私は初め心理学に興味があったことから医療関係にも進む気がなかったんです。でも姉が入ったことから、じゃあ私も心身に問題のある人を歯科を通して勉強してみようかと…。大学院に進み口腔外科を専攻しようとしたら父は猛反対。結婚させようと考えていたらしいんですよ(笑)。どうせ口腔外科は女性がいないし、無理だと思っていた様ですが…。でも私も近頃少々シンドク…。花婿募集中でーす(笑)。

Q：では今も心身症の患者さんなど…。

院長：ええ、得意の分野です。初めは顔も服装も暗い雰囲気だった方が、日毎に明るくなって行く姿を見ると、本当にこの職業を選んで良かったな、と感じますね。

Q：女医であることのメリット、デメリット、感じられたことは？

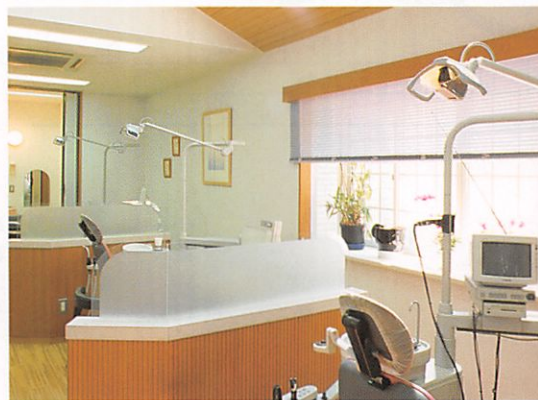
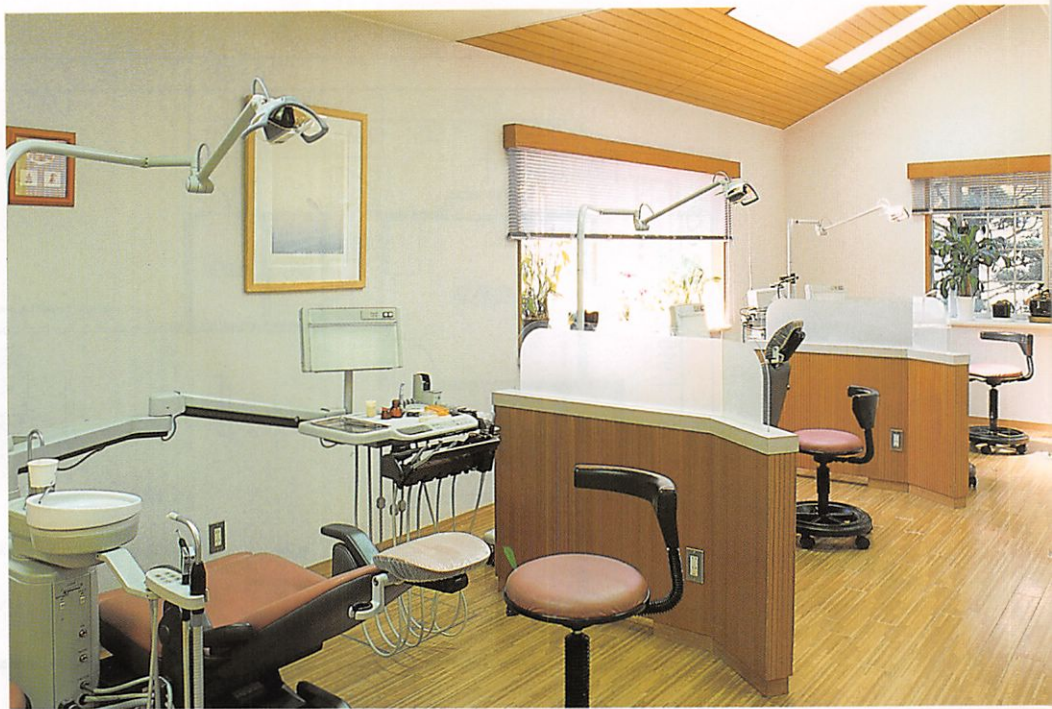
院長：そうですね。口腔外科に入局した時、女性は1人ですから当直室に泊まれなくて、ナースステーションで寝ていたんです。でもそれがかえって、良い勉強になりました。その外では男女差別を感じたことはありませんでした。メリットは、女性は女性同士と言うか、ボロボロの歯を女医さんだから見せられる、との気持ちが患者さんにはあるようで…。その位ですね。

Q：で、今のご心境は？

院長：開業にあたっては、先輩や友人、又設備関係に従事されている方々等、皆さんにお世話に成りました。開業後は患者さんに…。この室に飾られてある絵や飾り、植木など患者さんが持って来てくれた物が多いんです。私もそれを歯科医療を通

して還元しようかと…。治療時には1人1人に写真を見せながら、本人の口腔状態や病巣の個所を総て説明。将来の健康維持を含め、安心してかかれる医院として精一杯頑張っております。皆さんに助





けられての開業生活。周りの方々皆さんに感謝しております。

Q：可愛い外観ですね。診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：歯医者さんは怖い、というイメージがありますから、その感じを少しでも和らげよう、子供さんにも親しまれる医院の雰囲気、という思いで作りました。医院入口にどうしても段差が出来るとのことで、設計士さんとずい分言い合いをしましたが無理で…。そのため杖をつく方にはスタッフ全員で出迎え、診療室まで導くようにしております。

Q：当院の方針は？

院長：私も歯科医院で痛い思いをしましたから(笑)、人の痛みのわかる医院にと。特に医原性による心の痛みですね。例えば、「貴方の歯は真ん中がズレている」なんて言うと、途端に患者さんは笑顔をなくし暗い性格になってしまうんです。医原性によ

る心の病。スタッフ一同にも言っておりますが、気をつけなければなりませんね。

Q：ご自身とスタッフの勉強については？

院長：まだ開業1年ですので、落ち着いたら又学校に、と思っております。休みの木曜日や夜など友人と勉強会を開いておりますが、こんどは矯正を主に勉強して行きたいと思っております。スタッフは面接時に勉強してもらいますと言って…。入って1ヵ月位は学ぶことが多くつらいと思えますね。でも今は私が何も言わなくても、患者さんにゆっくり説明しますし、子供に対しても機器をさわらせてたり——はい、これがお口の掃除機よ、なんてバキュームにふれさせたり…。初めは泣いていた2〜3才の子供でも、次第に慣れて1人で診療室に入って来るようになります。スタッフも大変ですが、やりがいを感じているようです。

Q：何故オサダを、又何故ファインGMをお

選び下さったのですか？

院長：オサダのことはずっと以前からその評判を聞いていたので頭にありました。出向先の病院でも、貴方達が一番良いと思うものを決めてもいいよ、と言われ、すぐオサダを。今でもチェアはしっかり動いているので選んで良かったな、と思っています。そんな訳ですので、自分の開業も当然オサダを。ファインGMは、光重合なども手元で出来ますし、操作性も私の診療方針にピッタリと合っていたからです。自宅が同じ敷地内ですから、急患の方は夜でも休日でも治療します。そんな時でも、抜髄その他1人で総て出来



るユニットであることから選びました。

オサダさんは出向先でもそうですが、電話をすると、嫌な顔一つしないですぐ飛んで来てくれます。これも人と人との心のつながりを大切にしている企業だからこそなのではないでしょうか。

<設計のポイント>

きむら歯科は、瀬戸市菱野台団地の中心部の一角にあり、当地で永らく御両親が産婦人科医院を開業されており、その入り口部分にあった寮を取り壊し、新しく歯科部門を開設する事となった。

敷地内には正面奥に2階建産婦人科診療棟、右側は2階建住宅と庭園になっていました。

問題は限られた予算、限られた建物スペースと敷地内に於て各建物の動線が壊されない様にすると、子供やお年寄りの患者さんが安心して来院出来るレイアウトにする所からスタートしました。

アプローチは、前面道路の交通量が比較的多いため、人の飛び出しに注意し、又、奥の駐車場からの出入りも考慮しながら玄関に入る様にしました。袖壁は風除の役割を持たせながらあまり暗くならない様に飾り窓を設けている。外観的には施主の要望でもある風見鶏の似合う八角錐の屋根と、建坪の割には周りの建物に負けない大きさに見える建物としました。

内部待合にはウッディーなカウンターと硬質塩ビフローリングで統一した色調が、アットホームで清楚な印象を与えている。治療室からは出窓越しに庭を見る事が出来、天井からはトップライトより一日中穏やかな柔らかな日差しを取り入れ、斜め天井と床には木質感覚の仕上りとして、患者がリラックス出来る様に配慮しました。

三つの建物の役割を配慮しつつ地域に定着出来る医院のシンボリックな存在とした。

(有)アンドー設計室



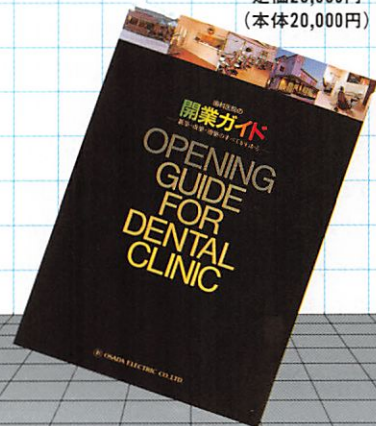
改訂版 開業ガイド

歯科医院の新築・増改築などに
豊富なカラー-photoを
多数掲載!!

<主な項目>

- 歯科医院のセクション別実例
(カラー-photo118点掲載)
- 歯科医院のレイアウトチェック
リストと基本事項
- これから開業される先生方へ
——オサダからのアドバイス
- 開業と税金の知識 他

定価20,600円
(本体20,000円)



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株) / お客様センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
TEL 03(3492)765*



歯科医師と演劇 2つの世界を楽しむ 坂登先生を訪ねて

坂登歯科医院

千葉市稲毛区稲毛東2-10-17

院長 坂登輝夫



総武線稲毛駅。以前はあまり馴染みのなかったこの駅名も、東京歯科大学が移転したことにより近頃は全国各地で時々聞かれるようになった。ご紹介の坂登歯科医院も駅から4~500m、東歯大に向かう道筋の右側に建っているゆえ、各種講習会へ出席される読者の方々も、「ああ、ここがああ先生の医院か」と気付かれる方も多いことだろう。

通された院長室には公演された「アンネの日記」や「にんじん」等のポスターを初め、各種舞台の出演写真が飾られている。——そもそも演劇とのなれそめは？「高校が青山学院(渋谷)で、あの学校は現在でもありますが、俳優の子弟が昔から多かったですよ。戦禍の跡もまだ残る昭和24年の頃だったかな、俺達が戦後の新しい日本文化を創造するんだと級友が演劇活動を開始し、私も引っ張り込まれたんです(笑)。その後父親が神田で歯科医院をやっていたことから私は東京歯科大学に入ったんですが、理系の大学にはないと思っていた演劇がサークル活動としてあったんです。それがそのまま続いて現在に至っております(笑)」。昭和24年以來と言われているから、この道約46年。歯科医の道より長い計算だ。「ええ、そうですね。でもどちらも一流にな

れなくて(笑)。私は自分を二流の人と呼んでいるんですよ」と笑われるが、どの写真を見ても迫力があり、しかも活々としている。

別荘がこの地にあったことから、幼少時の頃から時々この前の海で遊び(今では考えられないほど埋め立てられ、海ははるか遠方にあるが)、慣れていましたから、学童疎開も1人ここにきて…。その後20年の空襲で焼け出され、以来両親と共にこの地で住むようになりました、と言われるように、現在は「千葉市民劇場」と呼ばれる劇団に所属。過去出演された回数は77回。NHKのラジオドラマやオペラまで、演ずる種類も様々である。これでは歯科医と俳優、どちらが本業かわからない位だ。

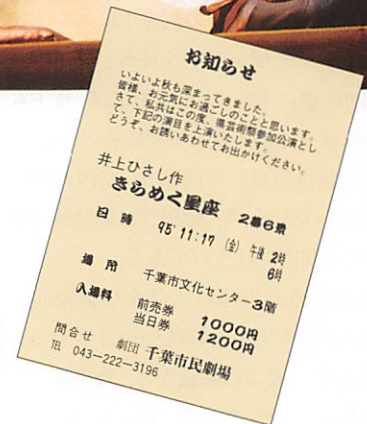
撮影時、白衣を脱ぎましょう、といって普段着に着替えられた先生。七変化ならぬ二変化であるが、これでは道で会った患者さんもわからないであろう。アルピニストに山の魅力を尋ねるように、愚問とは知りつつ、——演劇の魅力は？「色々な役柄から色々な人生を考える魅力もありますが、やはり一番は、芝居を観る人達と一体になって、怒り、泣き、笑う、感動を共感できることでしょうね。今は市民劇場の他に、子供達で作る『千葉青少年・ミュージカル』にも時折出演しているんですが、



最後の幕が下りると、皆んな抱き合って泣いているんです。こちら目頭が熱くなって…。この頃の少年達は勉強、勉強と偏差値に追いついて、何かに心から感動するということが希薄になっておりますが、そうした姿を見ますと、素晴らしいな、続けて来て良かったな、と思いますね」。——劇団のメンバー、練習日、公演回数は？「メンバーの職業は様々ですね。中学の先生、OL、飲み屋、サラリーマン等々…。サラリーマンの人達は職業の地位が上がるにつれて仕事の方も忙しくなったり、又転勤等もあったりで、年齢が高くなるにつれて出演出来なくなるようです。練習日は、現在は土、日、月の週3回、夕方7時頃から9時頃まで。公演が近づくと毎晩になります。定期公演は春の千葉市芸術祭と秋には県の芸術祭があり、その他、回数中学校や老人ホームの慰問等に呼ばれ演じます。舞台装置は学生の頃は自分達で作っていましたが、今は東宝舞台に頼っております。演ずる我々は素人ですが、舞台装置は一流のプロですよ(笑)」。——で、ご本業の方は？「月、水、金は真面目に働く日と決めてます(笑)。人数は、そうですね。平均20人位かな。その他の日、火曜日は所用を果たすことなどにあ

て、木曜日はロータリークラブなどの例会に出席。土曜日は半日ですから5~6人。でも患者さんも知っておりますから(笑)。この辺りは昔から住んでいる人達が多いから、患者層もお年寄りが多いですね。私も今年63歳。年相応の患者さんがついて来てくれます(笑)。

——劇団運営は？「私達はあくまで素人。趣味でやっておりますから、ほとんど持ち出しです。公演時には切符を1人30枚のノルマが与えられますが、1/3位は固定ファンも



おりまして助かっております。まあ道楽、私は道楽と呼んでおりますが(笑)。「この年になりますと、セリフもなかなか覚えられなくてね。舞台の客席からは見えないところにセリフの紙を貼っておくんです。でも、老眼になってからはその文字が読めないんですよ(笑)。アドリブで言うと、素人ですから、相手が次のセリフが出て来ないんです、困りますねー(笑)」。——歯科医師36年、演劇生活46年。ご感想は？「演劇をやって来て本当に良かったと思いますね。これが歯医者一筋だったら淋しい一生だったと思います。違った世界を知り、様々な人達と語り合い、共に喜びをわかち合う。今息子も東歯大を卒業して他所で修業しておりますが、バンドのグループに入り、アチコチ行っているようです。色々な人達と交わって生きることは人生にとって大切なことではないでしょうか。相手の立場に立って診療を考える。今盛んに言われている言葉だが…。坂登先生のお話がよくわかる。

ア シ ス タ ン ト 紹 介

くまさか歯科

青森県八戸市石堂1-27-13

院長 熊坂 覚

副院長 熊坂克江
(旧姓・大林)

八戸駅より、近年急速に発展したのであろうと思われる広い道路を車でおよそ15分。ご紹介のくまさか歯科が建つ周辺もレストラン、スーパー等、大型の商店が建ち並ぶ。医院もゆったりとした敷地にガラスをふんだんに使った明るい建物。近くには30台は可能と思われる駐車場も確保されているようだ。入口の看板、通りに面した待合室のガラスには、子供の顔をモディファイしたイラストが描かれ、痛い怖いという歯科医院の概念を、親しみやすい印象に変えている。院長の心使いがわかるようだ。

診療室も広い空間の真ん中にユニット5台(パーソナーFX)を並べ、前面は通路から更に中庭にと視界を広げ、後方も高さは腰までの手洗いキャビネットのみ。天井も吹抜けの高い片流れで、室内の仕切りは全くないという、見事なまでに開放感を感じさせる院内に仕上げている。

院長は神奈川歯科大学を卒業後、地元八戸市に戻り勤務医として3年余を過ごす。「その院長から、今後歯科医院はどんどん増える。君は出来そうだから、僕の持っているものを総て教えてやるから3年で開業しろと…。短い経験年数で開業することが出来、恵まれていたと感謝しております」と言われる。

先輩が太鼓判を押したように、開業後も日本口腔インプラント学会や東洋歯科医学会、日本全身咬合学会に属し、I.C.O.I認定医も取得。積極的に歯科医療に取り組まれている。

副院長である奥様も院長と同様、神奈川歯科大学卒の同級生。あいにく取材時には普段育児を頼まれているお母様が急用のため専業主婦をやっておりますと言われたが、開業以来8年、夫と共に医院を運営されて来た功労者であることは確かだ。「私は子供がおりますので、診療後はすぐ家に戻らなければなりません。その為今はスタッフとの交流はあまりありませんが、子供の手が離れたら同じ働く女性としての悩みや相談ごとを話し合

えたらいいな、と思っております」。

ドクター4名、衛生士2名、助手4名、受付2名、技工士5名の計17名という大所帯。院長・副院長とスタッフの呼吸もピッタリのように、患者数も多い。

10名おられる女性の内から、広い範囲で話が聞かれるようにとのことから、院長がベテランと新人を交えて、担当別に5人選んで下さった。

最初にご紹介するのは受付を担当される長南さん。1日80名前後の患者さんにそつなく対応される受付らしく、笑顔を絶やさずハキハキと話される言葉が気持ちいい。「患者数も多いので、医院を出るのは毎夜9時頃になりますが、これも仕事ですから気になりません。毎日がたのしくやがいを感じます」と頼もしい。何より自分の時間が欲しい、と言う現代若者気質の中にあつてめずらしい(?)ほどだ。——でも人間だから時には落込むこともあるのでは? 「ええ、患者さんに対してイヤ、と思ったことはないんですが、仕事失敗した時——例えば自分の伝えたことが内部の方に行き届いてなかったりした時など、自分が出来ないだけに落込むんです(笑)」。「主な仕事は受付と電話による予約と会計、カルテの保管や整理などです。——気をつけておられることは?」とにかく挨拶と笑顔を、と気をつけておりますが、相手は病人ですから、入って来た時はなかなか返って来ません。でも帰る時に機嫌が良くなっていれば…。」。医院とは何か、をよく知られているご返事である。

次にご紹介するのは助手を当院で4年半されている奥山さん。「以前は東京で金融機関に勤めておりました、当時は歯医者さんが嫌いでしたが、たまたま行った歯科医院でゆつたりと診療を受けたことから、ああ、こんな職業もあるんだと(笑)。そこで合わなかったら(スタッフに)、今こういう仕事はしていないかったです(笑)。全く未知の職業で初めは大変でしたが、院長の歯科についての話も興味が

長南 千帆さん
奥山富士子さん
目沢 厚子さん
大下内町子さん
中坂 知子さん





あったし、覚えて行くことが段々たのしくなりました。夜はちょっと遅いんですが、覚えたことが将来も役立つと思いますので、今は続けて良かったと思っています」。——気をつけていることは？「私も以前はそうでしたから、早く苦痛を和らげ、治療から解放させてあげたい。その為には手際良くやって早く終らせること。そして患者さんには今治療をしている内容を出来るだけ説明し、共に治す努力、手助けをしていくことをモットーに仕事しております。これは院長の方針でもありますから…」と、医院の方針を話してくれた。

目沢さんは栃木県立衛生福祉大学校歯科衛生士学科という長い名前前の学校を卒業さ

れた衛生士さん。——衛生士を志された動機は？「初めは看護婦になろうと思っていたんですが、仕事がキツイみたいで…。歯科もキライじゃあなかったのでも衛生士を選びました」と正直に。——では今は？「このレベルは周辺でも高いと評判ですし、良い医院に入ったという充実感を感じています。仕事の内容もインプラントの助手や患者さんの指導等、院長先生も積極的に研修会への出席など促してくれますので、やりがいもありますし、自分でも今後やりたいことが一杯あって(笑)」。結婚しても時間があればぜひ続けたい職業です、とこの仕事がたのしくてたまらないご様子。

大下内さんは千葉県立衛生短期大学を今

年4月卒業されたばかりのホヤホヤ衛生士さん。——入られての感想は？「学校時代実習に行きましたが、見ているのと実際は大違い(笑)。毎日覚えることばかりで精一杯。周りのことまでとても気を配る余裕はありません(笑)。未だ入ったばかりですが、時々自信がなくなりそうです(笑)」と言われるが、たのしそうな話し振りは、この職業を気に入っている証拠。数年後には素晴らしい衛生士さんに育っていることであろう。——今後は？「専門の仕事は何でもこなせる衛生士。そしてこの方と関って良かったと患者さんに思われる衛生士になりたいですね。笑顔を絶やさず明るく話すが、芯はしっかり持っている方、という印象。

中坂さんも今年5月入ったばかりのアシスタントさん。「以前は紡績関係の仕事をしていましたが、先輩に話を聞いて転職しました。思っていたよりつらい仕事ですが、やめたいとは思いません。今は覚えることばかりですが、自分の出来る範囲で患者さんと話をしたり、皆さんの邪魔にならないように手助けをして行きたいと思っています」。——院長先生は厳しい？「いいえ、今は私が知らないと思っているから親切に教えてください。でもその内だんだん厳しくなると覚悟をしています(笑)」と屈託なく本音を。これ又たのしいアシスタントさんである。

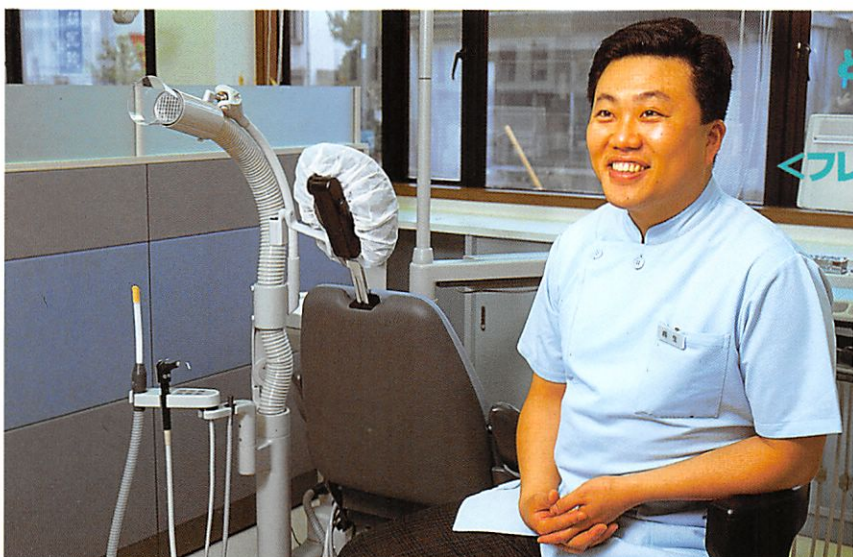


＜院長から一言＞

歯科医院は院長が主(あるじ)とは思っておりますが、女性スタッフがいないければ何も出来ないというのが実態です。彼



女たちも一生当院で過ごすとは思えませんから、後々この医院に勤めて良かったと思える職場にと、日々思っております。常々言っていることは、マニュアルを尊重しながらもっと良い方法は無いかと自から考えて自発的に仕事をして頂くと自分自身が磨かれて将来きっと役立つことと思っております。夜も遅いんですが、皆さん頑張ってくれて、感謝しております。



ともすれば汚れがちになる診療室内。
環境汚染に役立ち、清掃も楽で…。
＜フレクシー クリーンエア システム＞。
フルに活躍しております。

麻生 歯科医院

大分県佐伯市駅前1-4-8

院長 麻生隆太

(神奈川歯科大学卒・33才)



海

岸線に沿って走る日豊本線。戦前から知られる良港のためか、佐伯市に近づくにつれてセメントを初めとした大工場が目に見える。麻生歯科医院は住所名そのまま、駅前に建っている。一見マンションかと思うほど大きな3階建の建物はお父様名義というものの、地方ならではのゆつたりとした構えである。

お母様の実家が歯科医院をされていたことから歯科大へと進む。卒業後は大分市で約3年、地元に戻り、先輩にあたる土屋先生のところで約6年勤務医を経験。今年4月開業へと踏み切られた、爽やかな印象を与える若き院長である。

「人口5万5千人に対し、28軒ほど歯科医院がありますからかなり過密と言えますね。4月に開業したばかりで、落ち着いたと言っより、今は少々疲れています(笑)。生まれ



育った故郷ですから、これからは住民と共に信頼される歯科医師として生きていきたいと思っております。特に、自分がイヤだと感じるところには気を配るように。治療はむろんのこと、応待や院内雰囲気等、気をつけております。スタッフも皆明るく非常に助かっています(笑)。

◇ ◇

角面に位置する診療室は2方向から光が入り明るく気持ちが良い。3台並んだフラインGMには、それぞれに口腔外バキュームフレクシークリーンエアシステムVが。細かい切削粉等で室内が汚れがちになるためユニット購入時に取り付けましたが、環境汚染に役立ち、清掃も楽で…。フルに活躍しております。



内蔵式口腔外バキューム F.C.A.S.

オサダ フレクシー クリーンエア システム

¥386,000UP(工場オプション) ※消費税別途
※ブLOWER、エアシャッターは別途



時代が要求する感染予防対策が
ほぼ万全な＜ファインGMD＞。
フル活用しておりますが、
よく研究、考えられたユニットですね。

小川歯科クリニック

長野県松本市高宮南9-7

院長 小川浩樹

(朝日大学歯学部卒・31才)



松

本市街から南に向かつて車でおよそ15分。松本空港に抜ける県道沿いに建つ小川歯科クリニック。ゆつたりとした敷地内に、外観、内部とも、黒、グレー、ベージュを基本色に木目の茶、グリーンをアクセント色に使用された若者好みの明るい診療所。特に診療室内に入った正面に設けられたL字型の相談コーナーには、ビデオテレビ、ハンドカメラ、フィルムビデオ、大型の口腔内模型等、患者さんとの各種相談に応じられるよう置かれている。雑談を交えながら気軽に歯の話が出来るこうしたオープンスペースは、今後の歯科医院には欠かすことが出来ない大切な設備となっていくことであろう。

院長は卒業後信州大学医学部歯科口腔外科で全身から診る歯科医療を約4年程学び、その後開業に備え勤務医を約3年程経験。昨年11

月開業に踏み切られたばかりの誠実な印象を与える青年医師。「まだ若く実績も少ないので、とにかく執意をもって、一つ一つの治療に全力投球。患者さんの信頼感を得て行きたいと思っています。特にペリオは私1人だけでは出来ません。スタッフ全員で協力し合って、力を入れてやって行きたいと思っております。」

◇ ◇

当初2台でスタートしましたが、間に合わなくなり、すぐ1台追加しました。ファインGMDは、時代が要求する感染予防対策がほぼ完全に組み入れられており、アシスタントがいなくてもトレーの近くで、すべて操作が出来ます。フルに活用しておりますが、よく研究、考えられたユニットですね。



OSADA
Fine GMD L233LL
製造承認番号 03B第0326号